

公益社団法人  
神奈川県聴覚障害者協会

2020（令和2）年度  
事業報告

## 総 括 報 告

2020年度は新型コロナウイルスに振り回された一年でした。

2020年1月中旬から感染が拡大し、4月には緊急事態宣言が発出され、年度の初めからいろいろな行事を中止、延期にせざるを得ませんでした。新型コロナウイルスという未知の感染症について様々な情報がテレビやネットなどで流されましたが、手話通訳をつけたり、手話で説明したりするものはほとんどありませんでした。しばらくして徐々に情報提供施設などが手話付きの動画を発信し始めましたので、それらを神奈川県聴覚障害者協会(以下「当協会」という。)のホームページで紹介するなどの方法で県域の聴覚障害者への情報提供に努めました。しかしその情報の量は、聞こえる人がテレビやネットなどから得ることができる量に比べるとはるかに少なく、この格差をいかにして縮めていくかが課題です。

県知事の記者会見、ネットでのメッセージ動画などへの手話通訳の付与、県の新型コロナウイルスに関する相談窓口、帰国者・接触者相談センターの夜間、休日の相談窓口のFAX、メールでの相談の受付、新型コロナウイルス感染の疑いがあるろう者が医療機関に行く時の手話通訳者の感染を防止するための対策について、2019年度末に出した要望の結果、記者会見は毎回、メッセージ動画はほぼ毎回同時に手話通訳がつくようになり、FAX、メールでの相談の受付、遠隔手話通訳の利用が行われるようになりました。

しかし、実際に感染したろう者がホテルや自宅で療養する際の配慮については十分ではないという報告がありましたので、神奈川県聴覚障害者連盟(以下「神聴連」という。)を通して配慮を要望していきたいと思います。

また、ろう者の患者などの救急搬送の際の手話通訳者の感染防止のために救急搬送の際に遠隔手話通訳が行えるようにシステムを整備することを、市郡協会を通して市町村消防担当課に要望する取り

組みを行いました。その結果、横須賀市では3月からタブレットを用いた遠隔手話通訳体制が始まりました。他市町村でもこのような体制の整備が進むことが期待されます。

ただし、遠隔手話通訳の利用は、あくまでも緊急時及び感染の危険がある場合に限られ、原則として手話通訳は対面により行われなくてはなりません。このことを市町村などにしっかりと理解してもらい、派遣や設置手話通訳が遠隔手話通訳に置き換えられてしまうことのないようにする必要があります。

2021年度から本格化するワクチン接種については、接種に関する説明、相談、予約手続及び接種の際の聴覚障害者への配慮が十分になされるようにすることと、手話通訳者に対して優先接種を行うことを、神奈川県手話通訳者協会(以下、「バッジ協」という。)とともに県に要望しました。

デフ・ウェイ、賀詞交歓会など、当協会の活動の多くが中止または延期になったことにより、ろう者、特に高齢ろう者が集まる機会がほとんどなくなってしまいました。毎月、神奈川県聴覚障害者福祉センター(以下、「聴障センター」という。)で開催されていたミニデイサービスや見守り活動も休止となり、対象となっていた高齢ろう者の様子を把握することができなくなってしまいました。それで、高齢ろう者を対象に状況確認のFAXを送り、状況の把握を行いました。幸い、ほとんどの人は体調は変わりないという返事でしたが、皆に会うことができなくて寂しいという声がたくさんありました。いかにして、一人ぼっちになりがちな高齢ろう者に、他の人と会って手話で会話ができる機会を作ってあげるかが課題となっています。

訪問介護事業も、新型コロナウイルスの影響により事業を始めることができないうまま1年が過ぎてしまいました。その間にいろいろと市町村を回ったり、ケア

マネージャーの話を伺ったりした結果、訪問介護事業を始める前に必要な準備がまだたくさんあること、また、要支援のろう者の介護、生活支援のニーズがかなりあることがわかりました。今後、要支援のろう者の介護、生活支援を事業として取り組んでいくことを検討したいと思います。

この一年の間に、社会では感染防止のため、対面で会議を行う代わりに、zoomなどを使ってオンラインで会議を行う方法が広まりましたが、当協会でも、理事会、市郡代表会議、学習会や講演会をオンラインで開催する取り組みを行い、一定の成果を上げることができました。事務所も感染防止のためにリモート勤務を取り入れました。その結果、リモート勤務でも大きな問題はなく業務を進めることができ、むしろ効率的な面があるということがわかりました。この一年で得た知見を活かして、コロナ収束後の新しい社会にも対応できる協会の活動の様式を探っていきたいと思います。

手話言語条例、障害者差別解消法が施行されてから数年経過し、社会の理解も広まりつつありますが、まだ時折、聴覚障害者に対する配慮に欠けるケースが生じています。その中に、県警運転免許センターの高齢者免許更新講習の案内ハガキに電話番号しか記載されていなかったため、受け取ったろう者が自動車学校まで行って手続きをせざるを得なかったという事例があり、これに対し、FAX、メールアドレスの掲載を要望したところ、それに対する回答にも電話番号しか記載されていないという問題が起きました。こ

のように、社会の理解がまだまだ不十分であるのが現状であり、さらに根気強く理解を広めていく必要があります。

県の手話推進計画に基づく施策として行われている企業従業員対象の手話講習会の2020年度の派遣件数及び派遣人数は、企業等の手話講習会が4件、延べ8人でした。新型コロナウイルスの影響により、依頼件数が大幅に減り、手話での絵本の読み聞かせは皆無となってしまったことは残念です。

毎年参加していた、県の「ビッグレスキューかながわ」、「バリアフリーフェスタかながわ」は中止となり、ろう者と手話についての理解の促進の機会がなくなったことも残念でした。

県行政との交渉は、2020年度もバッジ協と共同で要望書を県障害福祉課に提出するとともに、意見交換を行いました。

委託事業は、手話通訳者指導者養成研修のほかに、職業研修、移動教室、逗子市及び葉山町の手話講習会を実施しました。

2020年度の当協会の会員は残念ながら、新型コロナウイルスの影響もあり、21人減の393人となりました。感染収束の見通しがつかない中、いかにして会員に情報を伝え、楽しんでもらえるような企画を実施するかが課題となっています。

このほか、平塚ろう学校同窓会、バッジ協、神奈川県手話サークル連絡協議会（以下「県サ連」という。）や聴障センターと連携して活動を進めてきました。今後も連携して県域に住むろう者の生活と権利の保障のための運動を進めていきます。

## 事務局報告

＜総括＞

2020年度は、新型コロナウイルスの感染防止対策として、事務所勤務は1人とし、残りの2人は自宅でのリモート勤務とする、日曜日は事務所を閉所するなどの対応を行いました。その結果、特に大きな問題もなく、事務所の業務を行うことができました。ただ、会員や関係者に不便をかけたこととお詫びしたいと思います。今後、感染防止と会員や関係者の利便の両立を図っていきます。

会員の声を聴く会は中止、総会は7月に延期して開催、理事会、市郡代表会議は一部オンラインによる開催と、通常通りに開催することができなかった一年でした

が、オンラインによる会議のメリットを理解できたという収穫もありました。

この経験を活かして事務所業務、行事や活動の更なる効率化を図っていきたくと思います。

委託事業のパソコン教室及び理容研修、逗子市葉山町手話講習会は、可能な限り、感染防止対策を行った上で実施しましたが、一部はやむなく中止となりました。

この他、神聴連が県から委託を受けて実施した聴覚障がい児等手話言語獲得支援事業「しゅわまる」の事務を担い、事業の円滑な運営に協力しました。

#### <事業報告>

実施日	内容	場所	参加人数等
2020年 7月19日(日)	第11回社員総会	聴障センター	出席代議員13人 (書面表決7人)
10月29日(木)	県障害福祉課意見交換	聴障センター	出席役員8人
2021年 3月28日(日)	会員の声を聴く会	聴障センター	(中止)

#### <職員体制>

河原雅浩 正職員(事務局長)  
羽成かおる 非常勤職員(週4日)  
小菅 秀 非常勤職員(週3~4日)

## 事業局報告

#### <総括>

##### 1. 出版物の販売普及

新しい手話等の本が発行された時はチラシを作成し、各市郡協会と地域の手話サークルに宣伝しております。今年は新型コロナで各市郡の手話講座等が軒並み中止になり、販売も大幅に落ち込みました。

##### 2. GO!デフワールド開催

各方面で活躍しているろう講師に自らの体験や考えを語ってもらい、生きた手話を見てもらうことを目的にしております。

初めてオンラインで2回実施しましたが、1回目は無料であったこともあり参加者が多かったですが、2回目は有料のこともあり期待ほどの参加は得られませんでした。

##### 3. 賀詞交歓会

新年の初めに、当協会関係者が集まり新年のあいさつを交わす場です。

感染防止対策を行っているホテルでの開催も検討しましたが、中止となりました。

##### 4. 手話カレンダー販売

神奈川県聴覚障害者連盟が発行する手話カレンダーを販売することにより、還元金の収入を得ました。

##### 5. デフリンピックへGO!

カナガワ・デフ・ウェイの代替行事として計画しましたが、新型コロナの緊急事態宣言を考慮し中止となりました。

##### 6. 出版物

出版物は、半年毎に集計(3月~8月及び9月~2月)し、販売金額が2万円を超えた協会に対して、販売金額の5%を還元しました。

#### <事業報告>

実施日	内容	場所	参加人数等
2020年4月5日(日)	GO!デフワールド18 講師：那須英彰氏	聴障センター	(中止)
6月7日(日)	GO!デフワールド19 講師：田原知佳氏	聴障センター	(中止)
9月27日(日)	カナガワ・デフ・ウェイ 2020	南足柄市文化会館	(中止)

11月8日(日)	GO!デフワールド 20 講師：渡邊千城氏	聴障センター・オンライン	29人
12月6日(日)	GO!デフワールド 21 講師：那須英彰氏	聴障センター・オンライン	12人
2021年1月10日(日)	賀詞交歓会	聴障センター	(中止)
3月20日(土)	デフリンピックへ GO!	藤沢市民会館	(中止)

## 組 織 局 報 告

### <総括>

#### ・市郡情報交換会等

2020年度は、例年同様に会員減少阻止と理事、市郡協会との現状課題の意識共有を図ることを方針として学習会および研修会を行う予定でした。

しかし、昨年2月より新型コロナウイルス感染が拡大し、その影響により施設を使用できなかつたり、外出自粛の発出もあり、一度も実施することはできませんでした。市郡代表者会議で呼びかけするのが精一杯でした。

2021年度は、またこのような事態になった場合、オンライン学習会等を検討したいと思います。

会員数は、393名で昨年比21名減となりました。

#### ・上部団体（神聴連組織部）との連携

神聴連加盟3団体（県域、横浜、川崎）では、神聴連組織一本化についての動きはなかったので、話し合いはありませんでした。全日ろう連、関東ろう連は事業がほとんど中止になっていたため、上部団体の情報を流すだけになってしまいました。

### <事業報告>

事業日	事業名	場所	参加人数等
2020年7月及び12月	市郡情報交換会	聴障センター	(中止)
2021年2月	バッジ協合同研修会	聴障センター	(中止)

## 財 務 局 報 告

### <総括>

2020年度会員は393名と、拡大目標には達せず21名減となりました。市郡協会によっては目標数を達成するところもあり、一方で大きく減ったところもありました。新型コロナウイルス感染症拡大のなかで会員数を大きく減らさなかったのはよかったのではないかと感じました。

喫茶室運営については、新型コロナウイルスの影響により2020年度は合わせて8か月間営業できなくなったため、売り上げが大きく減りました。

### <職員体制>

高橋美恵子 非常勤職員(週5日)

## 手 話 対 策 部 報 告

### <総括>

- 2020年度は新型コロナウイルスの影響により事業が中止、延期になり、その対応に追われて落ち着かない一年でした。後期からオンラインを活用して開催しましたが、慣れないためうまくいかなかった部分もあり、オンラインの基礎の習得が課題であると感じました。
- 講師養成委員会と手話指導方法研究班で、地域の手話講習会で指導を担う講師の技術向上と講師数の拡大を図るために「講師講習会(通訳養成講師講習会)」を全6回開催しました。内容は対面式講習会2回、オンライン講習会3回、自宅学習1回でした。また、手話指導方法研究班のメンバーに、全国手話研修センター主催の講師リーダー養成研修会(オンライン形式)を受講させました。
- 12月5日に実施された手話通訳者全国統一試験の結果、県域では12人が合格し

- ました。この合格者を対象とした神奈川県手話通訳者認定試験を3月14日に実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、延期になりました。
4. 神奈川県手話通訳者認定試験を再受験する方を対象に、「統一試験対策講座」を1回実施しました。本来は全10回開催する予定でしたが、感染防止のため1回に絞って実施しました。
  5. 神奈川県手話推進計画に基づいて行われた県企業向け手話講習会への講師派遣を行いました。

<参 考>

- ・試験検討委員会（随時開催：神聴協・バジ協・聴障センター）
- ・手話通訳者新人研修会（神聴協・バジ協・聴障センター）
- ・派遣運営委員会（2回：神聴協・バジ協・神難聴・神要協・聴障センター）
- ・手話通訳者養成講師講習会：受講者数28人
- ・統一試験対策講座 2020年9月12日(土) 藤沢公民館 受講生22名
- ・県企業向け手話講習会講師派遣 4件・延べ8人

<事業報告>

日 程	行 事 名	場 所	参加人数等	備 考
2020年6月27日(土) または28日(日)	神聴協・県サ連 合同懇談会	聴障センター	(中止)	
夏	三団体合同交流会		(中止)	神聴協・バジ協・ 県サ連

## 広 報 部 報 告

<総 括>

1. 機関紙「会報ゆり」発行の目的  
神聴協の機関紙「会報ゆり」は月々の活動報告、見解、イベントの宣伝などを掲載し、主に会員同士での情報共有と外部への情報発信を目的としています。
2. 5W1HとNeeds(ニーズ)  
記事作成にあたり、「5W1H」(いつ?誰が?どこで?何を?何のために?どのように?)及び、「Needs(読者はどんな情報がほしいのか?)」を柱としました。
3. 情報リテラシー(私たちに必要な情報を調べ取捨選択する能力)  
記事作成にあたり、諸会議の議事録、書籍・資料やインターネット上から得た様々な情報から必要な部分だけを抜き出し整理しています。いわゆる「情報リテラシー」を進めることによって、読者が「会報ゆり」を読むだけで、必要な情報と知識を効率よく得られるように工夫しました。
4. 魅力ある会報づくり  
会報の第1面はその月で一番重要な出来事を載せることを基本としました。ページの前半は主な出来事、後半はお知らせや広告ならびに神聴連関係の記事、最終ページは行事予定表とカレンダーとして編集ルールを設定しています。見出しの言葉及びレイアウトやフォントの選定などにも工夫を凝らし、写真やネットからダウンロードした無料イラストを積極的に貼り付けるなど、わかりやすく楽しく読める紙面づくりに取り組みました。
5. 経費節約  
会報印刷にかかる経費を節約するため、ページ数を抑えました。
6. 広告事業(関係団体による広告募集)  
◆8月号…残暑見舞い広告 ◆2021年1月号…年賀広告
7. その他  
県社協の機関紙「福祉タイムズ(2021年2月号)」に、神聴協の紹介記事「コロナ禍における聴覚障害者のコミュニケーション問題」を掲載しました。

◆会報「ゆり」購読者数(2021年3月31日現在)

	県	横浜	川崎	県外	計
正会員	295				295
賛助会員	134	2	1	1	138
一般	76	18	1	3	98
計	505	20	2	4	531

<無料購読者数…96部> 合計部数…毎月 531部発行  
 合計部数(531部+96部)…毎月627部発行(昨年度比33部減)

※ 正会員、賛助会員ともに年会費は購読料込みとなっています。

※ 一般(健聴者・県外在住聴覚障害者)の年間購読料は2,000円です。

◆2020年度会報「ゆり」発行一覧

発行月	会報「ゆり」に掲載した主な記事の見出し	発行No. (頁数)
2020年 4月	➢ 県へ要望 派遣手話通訳者を感染から守るために ➢ 神聴協&バッジ協幹部研修会を実施	478 (8)
5月	➢ 渡邊理事長からのメッセージ(感染症拡大による活動休止について) ➢ 神奈川県による緊急事態措置への事務所対応について	479 (8)
6月	➢ 神奈川県が帰国者・接触者外来での遠隔手話通訳を導入 ➢ 社員総会は延期が決定 カナガワ・デフ・ウェイは中止に	480 (8)
7月	➢ ロータリークラブからの心づくし(フェイスシールド240枚贈呈) ➢ 神奈川県の障がい者アスリート支援事業でデフリンピックも	481 (6)
8月	➢ 第11回社員総会開かる ➢ デフリンピックに挑むアスリートの顔ぶれ	482 (8)
9月	➢ 「咲む」横浜で全国初公開 ➢ 「遠隔手話通訳サービスのあるべき姿」を考える	483 (8)
10月	➢ 上映会を県域各地に展開へ(「咲む」) ➢ 『虹の輪』ミニデイサービス活動コーナー	484 (8)
11月	➢ 要望《県の聴覚障害者関係施策の充実を》 ➢ 18人が県手話通訳者に認定	485 (12)
12月	➢ 県への要望をめぐり県障害福祉課と懇談 ➢ GO!デフワールド20をオンライン開催	486 (10)
2021年 1月	➢ 新年のあいさつ「力を合わせて楽しい活動を」理事長渡邊千城 ➢ 神奈川県への要望に対する回答が出る 県障害福祉課と会合	487 (10)
2月	➢ 高齢者の運転免許更新「認知症機能検査のお知らせ」の検査 予約先にFAXなし ➢ 「咲む」反響続々 健聴者が観客の半数超え	488 (12)
3月	➢ 県に要望 ワクチン接種において、聴覚障害者への相談支援 および接種場所に手話通訳等の配置など ➢ 認知機能検査及び高齢者講習案内ハガキ問題	489 (10)

## 文化 部 報 告

<総括>

2020年度は、体育部との共催バーベキュー、講演会などを予定していましたが、新型コロナウイルスの影響により中止となりました。

移動教室は、理容だけ実施することができましたが、他の6ブロックは新型コロナウイルスの影響により中止となりました。(開催日、内容、場所等は14ページを参照)

文化部内の各クラブの活動も、影響を受けましたが、感染防止対策を行いながら実施し、会員同士の交流を深めることができました。

最近、文化部内の連絡調整や、市郡協会の文化部や企画部との連携がうまくいって

いままので、体制を見直したいと考えています。

<事業報告>

実施日	内 容	会 場	参加人数等
2020年4月24日(金)	各クラブ報告会	聴障センター	(中止)
8月8日(土)	移動教室打合せ	聴障センター	6人
9月20日(日)	文化部・体育部共催 バーベキュー	小田原	(中止)
2021年2月13日(土)	文化部講演会	聴障センター	(中止)

★文化部委員会 年間7回(オンラインによる会議)

【各クラブ】

☆手芸クラブ☆

- ・部員数 6人
- ・定例会 毎月第3土曜日 聴障センター

実施日	内 容	場 所	参加人数等
2020年10月28日(水)	ハイキング	鎌倉	5人

この他に、納涼会、忘年会、クリスマス会などを行いました。

☆歴史散歩倶楽部☆

- ・部員数 20人

実施日	場 所	参加人数等
2020年10月31日(土)	伊豆下田方面	18人
2021年3月21日(日)	小田原方面	12人

☆グルメ探訪倶楽部☆

- ・部員数 5人
- 新型コロナウイルスの影響によりすべて中止となりました。

☆将棋クラブ☆

- ・部員数 4人 活動日 毎月3土曜日
- ・毎月3土曜日、聴障センターで将棋交流会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により実施したのは7月18日のみ(4人参加)でした。

☆ハイキングクラブ☆

- ・部員数 16人

実施日	場 所	参加人数等
2020年10月24日(土)	弘法山	15人
11月28日(土)	足柄峠	14人

☆雀薈クラブ☆

- ・部員数 5人
- ・麻雀交流会 毎月第3木曜日 聴障センター

実施日	内 容	場 所	参加人数等
2020年11月12日(木)	麻雀交流会	聴障センター	5人
12月3日(木)	麻雀交流会	聴障センター	5人
12月17日(木)	麻雀交流会	聴障センター	5人

☆パソコンクラブ☆

- ・部員数 19人
- ・毎月第2・4火曜日
- ・毎月第2・4火曜日開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により、4月から7月までは休止し、10月から再開しました。その後、感染が拡大したため、1月から3月まではzoomによるオンラインで開催しました。
- ・PowerPoint(パワーポイント)、Word(ワード)、Excel(エクセル)の体験、技術、編集、各種機能の設定などの学習を行いました。

☆釣りクラブ☆

- 部員の都合により休部となりました。



# 福祉対策部報告

## <総括>

2020年度は新型コロナウイルスの影響により2回計画していた学習会のうち1回は中止になりました。

残りの1回も感染拡大のため開催が危ぶまれましたが、講師の田門さんの協力を得て、学習会「聴覚障害者への合理的配慮とは？」をオンラインで開催することができました。

福祉対策部委員会を2回行いました。

## <事業報告>

実施日	内 容	場 所	参加人数
2020年9月12日(土)	学習会		(中止)
2021年2月20日(土)	学習会「聴覚障害者への合理的配慮とは？」講師:田門浩氏	(オンライン)	22人

# 教育部報告

## <総括>

### 1. 絵本の読み聞かせ

2020年度は、新型コロナウイルスの影響により、ろう学校においては、神奈川県立平塚ろう学校だけの開催になり、感染防止対策を行ったうえで開催しました。ろうの児童・生徒に対して手話での絵本の読み聞かせを行い、保護者に対する手話指導も併せて行いました。それと共に、感染防止対策を行ったうえで、健聴の子供達に、手話・ろう者のことを知ってもらい、理解を広めるために、幼稚園、保育園等での、手話での絵本の読み聞かせも行ないました。

### 2. 合同進路学習会

2020年度は、新型コロナウイルスの影響により中止となりました。

### 3. 放課後ふれあいサロン、デフ・サマー・ウィンター・スプリングスクール

2020年度は、新型コロナウイルスの影響により、事業規模を縮小し、感染防止対策を行ったうえで開催しました。

放課後ふれあいサロンは、保護者より開催して欲しいとの声を受け感染防止対策を徹底しながら開催いたしました。できるだけ早いうちに放課後等デイサービス事業の実施に繋げていきたいと考えています。

## <事業報告>

実施日	内 容	場 所	参加人数等
2020年4月～ 2021年3月	手話による 絵本の読み聞かせ	県立平塚ろう学校 健聴の幼稚園・保育園等	55回 122回
2020年4月～ 2021年3月	保護者手話学習会	県立平塚ろう学校	9回
2020年4月～ 2021年3月	放課後ふれあいサロン	平塚市(湘南の和)	15回/延べ95人

# 体育部報告

## <総括>

2020年度は、新型コロナウイルスの影響により文化部・体育部共催バーベキュー会、ソフトバレーボール大会が中止となりました。デフ・フットサル教室、デフ・ウィンター・アドベンチャーも感染拡大により開催が危ぶまれましたが、聴覚障害児やその保護者からの要望を受け、事業規模を縮小し、感染防止対策を行ったうえで開催しました。

<事業報告>

実施日	内 容	場 所	参加人数等
2020年 9月20日(日)	文化部・体育部共催 バーベキュー会	小田原	(中止)
夏	プロ野球観戦		(中止)
10月	ソフトバレーボール大会		(中止)
2021年 3月26日(金) ・31日(水)	デフ・フットサル教室	湘南ベルマーレアス レティックセンター (藤沢)	26日：14人 31日：13人
3月27日(土) ～28日(日)	デフ・ウィンター・ アドベンチャー	長野県八ヶ岳	児童・生徒24人 スタッフ14人

## 青 年 部 報 告

<総 括>

2020年度は、神聴協独自の企画を設ける予定でしたが、感染拡大に伴う緊急事態宣言を受け、スタッフの健康と安全面を最優先として、中止としました。そのため十分な活動ができませんでした。

<事業報告>

実施日	内 容	場 所	参加人数等
2020年春	講演会又は研究討論会		(中止)
2021年2月20日(土)	オセロ会	聴障センター	(中止)

## 女 性 部 報 告

<総 括>

手作り体験は、初めて大きい革を使って、手提げバッグを丁寧に一生懸命作り、皆うまく出来たので、良かったです。

講演会、ゆり女性茶話会は、新型コロナウイルスの影響により中止になりました。

<事業報告>

実施日	内 容	場 所	参加人数等
2020年10月15日(木)	講演会		(中止)
12月10日(木)	手作り体験	聴障センター	8人
2021年3月11日(木)	ゆり女性茶話会		(中止)

## 高 齢 部 報 告

<総 括>

新型コロナウイルスの影響により年間行事を開催することができませんでした。

しかし、長寿を祝う会を開催しない代わりに、喜寿迎えた10人にお祝いの言葉を添えてギフト券を送付しました。

今までは高齢者の皆、行事に参加し、会話を楽しんでいましたが、2020年度はずっと会えず、会員の皆さんの状況も把握できず、本当に心配しております。

<事業報告>

実 施 日	内 容	場 所	参加人数等
2020年9月15日(火)	長寿を祝う会	聴障センター	(中止)
10月21日(水)	社会見学	崎陽軒焼売工場(横浜市都筑区)	(中止)
2021年1月19日(火)	新春交歓会	聴障センター	(中止)

## カナガワ・デフ・ウェイ実行委員会

<総括>

市民参加のイベントで聴覚障害者と健聴者が出会い交流し、聴覚障害者への理解を広めることを目指しています。2020年度は南足柄市で開催予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により2021年度に延期となりました。

<事業報告>

実施日	内容	場所	参加人数等
2020年 9月27日(日)	カナガワ・デフ・ウェイ2020	南足柄市文化会館	(延期)

## デフ・アドベンチャー交流プログラム 2020

<総括>

ろう児が大人のろう者と一緒に、自然体験をしながらお互いに交流することを目的とした「デフ・アドベンチャー交流プログラム 2020」を8月8日(土)～10日(月)の2泊3日間、八ヶ岳(長野県)に於いて実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大を受けて宿泊の交流は中止しました。

代わりに、日帰りでの企画『鎌倉ウォークアドベンチャー』を開催しました。ろう児と成人ろう者で交流をしながら、鎌倉の神社・お寺を回り鎌倉の歴史に触れ学び、また恵まれた鎌倉の自然に触れ自然の豊かさを身体で感じ、一日中鎌倉をハイキングしました。今年度は新型コロナウイルスの影響により、学校も休校になったり、イベントや対面での遊びも制限され、子ども達には制限の多いストレスの多かった一年間になりました。今年度最後に楽しい企画を、コロナ感染対策も考えながら無事に終えたこと、また何より終了後の子どもたちの楽しそうな笑顔、「疲れたけど楽しかった。また来年もお願いね!! 春休みの最後の良い思い出になった。」との言葉をもらい、開催して良かったと思いました。

新型コロナウイルスの終息には時間がかかります。ただ、イベントや行事を中止するだけでなく、今できること・コロナ感染防止を考え、ろう児の楽しそうな笑顔を見るため、ろう児の未来のために、試行錯誤し来年度はできる範囲で、イベントを開催していきたいと思えます。

<事業報告>

実施日	内容	場所	参加人数等
2021年 3月30日(火)	鎌倉歴史散歩& ハイキング	鎌倉	24人【内訳】子供 12人 スタッフ 12人

## 神奈川県聴覚障害者グループホーム準備委員会

<総括>

2020年度の活動は、新型コロナウイルスの影響により、対面での活動ができず、見守り活動は休止しました。ミニデイサービスは神奈川県聴覚障害者福祉センターもコロナの影響で使用できず回数も限られてしまいました。訪問介護事業実施の準備についても、新型コロナウイルスの影響により準備が進まず事業開始できないままに過ぎてしまいました。新型コロナウイルスが収束する見通しがつき次第、事業開始に向けて準備を始めたいと思えます。

<事業報告>

1. 委員会の開催 (2020年度は開催せず)
2. ミニデイサービス事業の開催

\*神奈川県聴覚障害者福祉センター大講習室・・・3回開催

実施日	参加人数 (利用者・スタッフ)
2020年9月16日(水)	20人(13人・7人)
10月7日(水)	23人(16人・7人)
11月11日(水)	21人(13人・8人)

\*湘南の和・・・(2020年度は開催せず)

\*巡回ミニデイサービス・・・合計3回

実施日	会 場	参加人数(利用者・ スタッフ・協力者)
2020年 7月26日(日)	茅ヶ崎 老人憩いの家 しおさい南湖	11人(4人・2人・5人)
9月6日(日)	茅ヶ崎 老人憩いの家 しおさい南湖	15人(7人・2人・6人)
11月1日(日)	茅ヶ崎 老人憩いの家 しおさい南湖	9人(4人・2人・3人)